



INTERVIEW

## 福島で、実現する。

あなたが実現したいことは、なんですか？



農芸化学

先輩職員インタビュー

「県民の方々の『食の思い』を実現するために」

所属 会津保健福祉事務所 生活衛生部 衛生推進課

● これまでの経歴(所属年度)

H24~H26 県中保健福祉事務所 生活衛生部 衛生推進課

H27~H29 県北保健福祉事務所 生活衛生部 衛生推進課

H30~ 会津保健福祉事務所 生活衛生部 衛生推進課

Q. 現在の仕事内容とそのやりがいについて教えてください。

A. 私が所属する衛生推進課の食品衛生チームでは、飲食店や食品製造施設などの許可業務や監視指導、食品表示の適正化など、食品衛生に関する様々な業務を行っています。その中で、現在私は、大規模な食品工場や、一度に大人数が飲食する集団給食施設などの衛生指導を担当しています。専門的な知識を必要とされるうえ、人と接する機会も多く、時には相手の納得が得られるまで粘り強く説明をしなければならないこともあります。理解が得られた時などはやりがいを感じます。



Q. 福島県職員として、実現したいこと、目標としていることは何ですか。

A. 新たに食品事業を始めたいという方や、イベント等における食品の提供で地域の活性化を図りたいという方からの相談を受けることが多くありますが、中にはご相談いただいた内容をそのまま実現することが難しい場合もあります。県民の方々の「やりたい」という思いをできる限り尊重し、食品衛生に十分注意しながら、どのようにしたら実現できるか、を同じ目線で模索できるような職員になれたらいいなと思います。



Q. 県職員を志望した理由を教えてください。

A. ライフステージが変化しても安定して働き続けられる仕事に就きたいと思っていたところ、食品衛生監視員として活躍する大学の卒業生から話を聞く機会があり、大学で学んだことを県職員の仕事の中で活かせる職種があることを知り、志望しました。



Q. 仕事の中でうれしかったエピソードはありますか。

A. 大勢の前で話すことはあまり得意ではないのですが、一生懸命作成した資料を使用して行った講習会后に、受講者の方から直接、「講義の資料も内容もとてもわかりやすかった」と感想をいただいたことがあり、達成感を味わうとともにとてもうれしい気持ちになりました。

Q. あなたの県職員生活をキーワードで伝えるとしたら、どんな言葉が思い浮かびますか。

A. 「食品衛生」「長距離通勤」「子育て中」「おいしいもの」「わきあいあい」

Q. 「おいしいもの」について教えてください。

A. 業務の性質上、出張することが多いのですが、そのような時に、出張先の気になる飲食店でおいしいものを食べるのが工作中的の楽しみです。県職員の勤務先は県内各地さまざまのため、大変なこともあります。異動先の新たな地でおいしいものにめぐり会えることは魅力だと感じています。



★ この職員の「子育て制度の活用例」について、パンフレットに掲載しています。ぜひご覧ください！